

**製品名:** デュオウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab10193

研究使用のみ

## 概要

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ELISA   |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

## 応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

## 抗原情報

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | KALRN  |
| 別名           | KALRN; DUET; DUO; HAPIP; TRAD; Kalirin; Huntingtin-associated protein-interacting protein; Protein Duo; Serine/threonine-protein kinase with Dbl- and pleckstrin homology domain |
| 遺伝子 ID       | 8997.0   |
| SwissProt ID | O60229   |
| 免疫原          | Duo 由来の合成ペプチド。AA 範囲: 810-890   |

## 背景

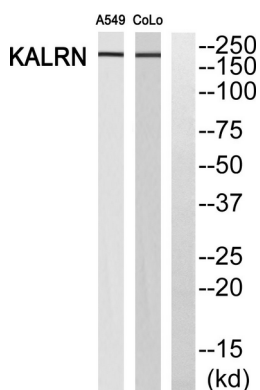
ハンチントン病 (HD) は、線条体ニューロンの喪失を特徴とする神経変性疾患であり、HD タンパク質ハンチンチンにおけるポリグ

ルタミン鎖の拡大によって引き起こされます。この遺伝子は、ハンチンチン結合タンパク質であるハンチンチン関連タンパク質 1 と相互作用するタンパク質をコードしており、ハンチンチン結合タンパク質は小胞輸送に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2016年4月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質、補因子: マグネシウム、疾患: KALRN の遺伝的変異は、冠動脈性心疾患 5 型 (CHDS5) の感受性と関連している [MIM:608901]。CHD は世界中で死亡および障害の主な原因です。CHD は遺伝的要素が強く関与する多因子疾患です。古典的な疫学研究では、年齢、性別、高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙、運動不足など、冠動脈疾患の多くの危険因子が明らかになっています。ドメイン: 2 つの GEF ドメインは、それぞれ DH1 と DH2 が結合する RAC1 と RhoA のヌクレオチド交換を触媒します。2 つの GEF ドメインは、ニューロンの発達と軸索伸展で異なる役割を果たしているようです。SH3 1 は、PXXP ペプチドが存在する場合にのみ最初の GEF ドメインに結合して GEF 活性を阻害することから、SH3 ドメイン/ペプチド相互作用が GEF1 への結合を媒介していることが示唆されます。CRK1 SH3 ドメインは GEF1 に結合してその活性を阻害します。機能: GTP による GDP の交換を促進します。特定の Rho GTPase ファミリー メンバーを活性化することで、アクチン細胞骨格への影響を通じて、ニューロンの形状、成長、可塑性を制御するさまざまなシグナル伝達メカニズムを誘導します。GEF 活性とは独立してラメリポディアを誘導する。その他: コードされるタンパク質が TRIO に近縁だが、それよりも短いため DUO と呼ばれる。PTM: 自己リン酸化される。配列注意: コンタミネーション配列。ポリ A 配列の可能性はある。類似性: タンパク質 キナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼ ファミリー。類似性: 1 つの CRAL-TRIO ドメインを含みます。類似性: 1 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。類似性: 1 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼ ドメインを含みます。類似性: 2 つの DH (DBL 相同) ドメインを含みます。類似性: 2 つの PH ドメインを含みます。類似性: 2 つの SH3 ドメインを含みます。類似性: 5 つのスペクトリン繰り返しを含みます。細胞内位置: 細胞骨格に関連します。サブユニット: ペプチジルグリシン  $\alpha$ -アミド化モノオキシゲナーゼ (PAM) の C 末端およびハンチンチン関連タンパク質 1 (HAP1) と相互作用します。組織特異性: 大脳皮質、被殻、扁桃核、海馬、尾状核で高発現している。脳幹および小脳では弱発現している。アイソフォーム 4 は骨格筋で発現している。

## 研究分野

-

## 画像データ



KALRN 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが KALRN ペプチドでブロッキングされている。